

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2020年1月9日(09.01.2020)



(10) 国際公開番号

WO 2020/008491 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 30/06 (2012.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2018/025016

(22) 国際出願日: 2018年7月2日(02.07.2018)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人: 楽天株式会社 (**RAKUTEN, INC.**) [JP/JP]; 〒1580094 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: 山添 悠 (**YAMAZOE Yu**); 〒1580094 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 楽天株式会社内 Tokyo (JP).

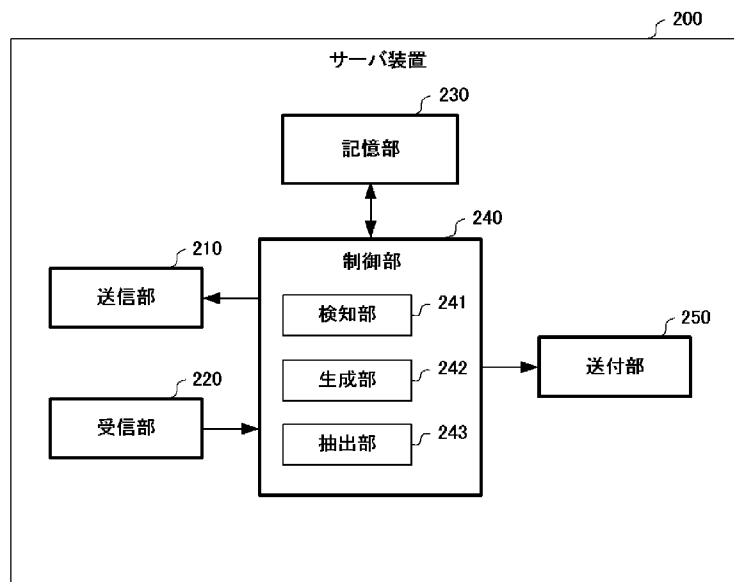
(74) 代理人: 石井 裕一郎 (**ISHII Yuichiro**); 〒1010054 東京都千代田区神田錦町二丁目7番地 協販ビル2階 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,

(54) **Title:** SERVER DEVICE, SALES SYSTEM, SERVICE METHOD, AND PROGRAM

(54) 発明の名称: サーバ装置、販売システム、サービス方法、ならびに、プログラム

[図3]



200 Server device
210 Transmission unit
220 Reception unit
230 Storage unit
240 Control unit
241 Detection unit
242 Generation unit
243 Extraction unit
250 Sending unit

(57) **Abstract:** A detection unit (241) detects a purchase application to a merchant from a shopper. A transmission unit (210) transmits to the shopper an order confirmation email indicating an email address in the "From" field, based on an order identifier that is an identifier identifying the purchase application and including unique information linked to the merchant, and a domain name corresponding to a server device (200). A reception unit (220) receives a reception email. An extraction unit (243) extracts the order identifier from the email address indicated in the "To" field of the reception

SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 一 国際調査報告 (条約第21条(3))

email received by the reception unit (220). A sending unit (250) sends, to the merchant linked to the unique information, an email in which the order identifier extracted by the extraction unit (243) is embedded in the "Subject" field, an expanded header field, or the text body.

(57) 要約: 検知部(241)は、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する。送信部(210)は、購入申込を識別する識別子であり、マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、サーバ装置(200)に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、ショッパーへ送信する。受信部(220)は、受信メールを受信する。抽出部(243)は、受信部(220)にて受信された受信メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する。送付部(250)は、Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、抽出部(243)にて抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する。

明 細 書

発明の名称：

サーバ装置、販売システム、サービス方法、ならびに、プログラム
技術分野

[0001] 本発明は、サーバ装置、販売システム、サービス方法、ならびに、プログラムに関する。

背景技術

[0002] 近年、インターネット上において、多くの店舗（仮想店舗）が集まって構成される販売サイト（ショッピングモールサイト）が知られている。このような販売サイトは、全体で幅広いカテゴリ（ジャンル）の商品を取り扱っているだけでなく、店舗同士の価格競争も行われていることもあり、多くのユーザを獲得している。

[0003] 例えば、ユーザは、パソコンやスマートフォンのブラウザ等を用いて、販売サイトにアクセスし、所望の商品を購入（注文）する。そして、販売サイトからは、その購入内容についての注文確認メールが、そのユーザに向けて直ちに送信される。

[0004] ユーザが商品の購入後に、購入内容の変更を希望する場合もある。例えば、購入した商品について、数量の変更、色違い商品への変更、別商品への変更等を希望するような場合である。また、購入した商品の発送方法や発送先について、変更を希望する場合もある。

そのような場合、例えば、ユーザは、販売サイトにおける自身の管理ページ等にアクセスし、注文履歴から対象の購入商品を表示させ、数量等を変更できるようになっている。それでも、実際には、購入直後に送られる注文確認メールを見て、購入内容を変更すべきことに気付き、その注文確認メールに返信することで購入内容の変更等を試みるユーザも存在している。

[0005] 通常、注文確認メールは、例えば、送信専用のアドレスを送信元として、商品を購入したユーザ宛に自動送信される。そのため、注文確認メールに返

信されてしまうと（送信元に返信されると）、システム上対応できない（受信できない等）というのが現状であった。そのため、本メールに返信されても対応できない旨が、注文確認メールの本文中に記載されている場合が多い。

それでも、ある程度の割合で、上述したように、注文確認メールに返信してしまうユーザも存在していた。

[0006] このようなことから、例えば、特許文献 1 には、個々の注文に応じて異なる注文アドレス（注文期間内のみ利用可能なアドレス）を自動生成し、その注文アドレスを送信元とした注文確認メール（受付電子メール）をユーザに送信することで、その注文確認メールに返信されても対応できるようにした注文システムの発明が開示されている。

先行技術文献

特許文献

[0007] 特許文献1：特開 2 0 0 2 - 2 1 5 9 6 8 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0008] 上述した特許文献 1 の発明では、注文確認メールの送信元となる注文アドレスが一意であるため、例えば、商品の識別番号及びその数量だけをユーザが記載して注文確認メールに返信することで、購入内容の変更を行うことができる。

[0009] しかしながら、注文件数が極めて多い販売サイトでは、それぞれの注文確認メールを送信する際において、送信元のアドレスを、注文に応じて異なるように生成することは、現実的ではない。

また、多くの店舗が集まって構成される販売サイトでは、そのユーザが商品を購入した店舗の端末（担当者等のメールアドレス）に、返信された電子メールを届ける（送付する）必要があるため、特許文献 1 の発明をそのまま適用することができなかった。

[0010] このようなことから、商品を購入したユーザ（ショッパー）が注文確認メールに返信した場合でも、そのユーザが商品を購入した店舗（マーチャント）へ電子メールを送付することのできる技術が望まれていた。

[0011] 本発明は、上記実状に鑑みてなされたもので、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することのできるサーバ装置、販売システム、サービス方法、ならびに、プログラムを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0012] 上記目的を達成するために、本発明の第1の観点に係るサーバ装置は、
ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、
前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、当該サーバ装置に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、
電子メールを受信する受信部と、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出部と、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付部と、
を備えることを特徴とする。

[0013] 上記目的を達成するために、本発明の第2の観点に係るサーバ装置は、
ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、
前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子と、当該サーバ装置に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、
電子メールを受信する受信部と、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスか

らマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出部と、

Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付部と、
を備えることを特徴とする。

[0014] また、上記第1、第2の観点に係るサーバ装置において、

前記送信部は、前記注文識別子を符号化して文字数を短縮した短縮識別子を含んだメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信し、

前記抽出部は、前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから短縮識別子を特定し、特定した当該短縮識別子を復号化して注文識別子を抽出してもよい。

[0015] また、上記第1、第2の観点に係るサーバ装置において、

一時的に利用可能なメールアドレスであり、少なくとも前記注文識別子と紐付けられた一時アドレスを発行する発行部を、更に備え、

前記送信部は、前記発行部により発行された前記一時アドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信し、

前記抽出部は、前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスに紐付けられた少なくとも注文識別子を抽出してもよい。

[0016] また、上記第1、第2の観点に係るサーバ装置において、

前記送信部は、前記ショッパーから送信された前記電子メールを受信した後に、前記マーチャントから前記ショッパーへ送信すべき電子メールのSubjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記注文識別子が含まれている場合に、当該電子メールのFromフィールドに、前記注文識別子を含んだメールアドレスを指定してから、前記ショッパーへ送信してもよい。

[0017] 上記目的を達成するために、本発明の第3の観点に係る販売システムは、販売サーバと管理サーバとから構成される販売システムであって、

前記販売サーバは、
ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、
前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、前記管理サーバに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、を備え、
前記管理サーバは、
電子メールを受信する受信部と、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出部と、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付部と、を備える、
ことを特徴とする。

- [0018] 上記目的を達成するために、本発明の第4の観点に係る販売システムは、
販売サーバと管理サーバとから構成される販売システムであって、
前記販売サーバは、
ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、
前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子と、前記管理サーバに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、を備え、
前記管理サーバは、
電子メールを受信する受信部と、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスからマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出部と、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント

名に対応するマーチャントへ送付する送付部と、を備える、
ことを特徴とする。

[0019] 上記目的を達成するために、本発明の第5の観点に係るサービス方法は、
サーバ装置が実行するサービス方法であって、

前記サーバ装置が、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する
検知ステップと、

前記サーバ装置が、前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャ
ントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、当該サーバ装置に対応
するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注
文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信ステップと、

前記サーバ装置が、電子メールを受信する受信ステップと、

前記サーバ装置が、前記受信された電子メールのToフィールドに指定され
たメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出ステップと、

前記サーバ装置が、Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは
、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有
情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付ステップと、

を備えることを特徴とする。

[0020] 上記目的を達成するために、本発明の第6の観点に係るサービス方法は、
サーバ装置が実行するサービス方法であって、

前記サーバ装置が、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する
検知ステップと、

前記サーバ装置が、前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記
購入申込を識別する注文識別子と、当該サーバ装置に対応するドメイン名と
に、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、
前記ショッパーへ送信する送信ステップと、

前記サーバ装置が、電子メールを受信する受信ステップと、

前記サーバ装置が、前記受信された電子メールのToフィールドに指定され
たメールアドレスからマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出ステ

ップと、

前記サーバ装置が、Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付ステップと、
を備えることを特徴とする。

[0021] 上記目的を達成するために、本発明の第7の観点に係るプログラムは、
コンピュータを、

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部、

前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、当該コンピュータに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、
前記ショッパーへ送信する送信部、

電子メールを受信する受信部、

前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出部、

Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付部、

として機能させることを特徴とする。

[0022] 上記目的を達成するために、本発明の第8の観点に係るプログラムは、
コンピュータを、

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部、

前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子、当該コンピュータに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部、

電子メールを受信する受信部、

前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスか

らマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出部、

Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付部、

として機能させることを特徴とする。

[0023] 上記プログラムは、当該プログラムが実行されるコンピュータとは独立して、コンピュータ通信網を介して配布・販売することができる。

[0024] 上記プログラムを記録した情報記録媒体は、非一時的な（non-transitory）記録媒体であり、コンピュータとは独立して配布・販売することができる。ここで、非一時的な記録媒体とは、有形な（tangible）記録媒体をいう。非一時的な記録媒体は、例えば、コンパクトディスク、フレキシブルディスク、ハードディスク、光磁気ディスク、デジタルビデオディスク、磁気テープ、半導体メモリ等である。また、一時的な（transitory）記録媒体とは、伝送媒体（伝搬信号）それ自体を示す。一時的な記録媒体は、例えば、電気信号、光信号、電磁波等である。なお、一時的な（temporary）記憶領域とは、データやプログラムを一時的に記憶するための領域であり、例えば、RAM（Random Access Memory）等の揮発性メモリである。

発明の効果

[0025] 本発明によれば、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することができる。

図面の簡単な説明

[0026] [図1]本実施形態に係る販売システムの全体構成の一例を示すブロック図である。

[図2]サーバ装置、マーチャント端末、ショッパー端末、及び、販売サイトが実現される典型的な情報処理装置の概要構成の一例を示すブロック図である。

[図3]本実施形態に係るサーバ装置の概要構成の一例を示すブロック図である。

[図4]変換テーブルの一例を示す模式図である。

[図5]注文確認メールの具体例を示す模式図である。

[図6A]返信された電子メールの具体例を示す模式図である。

[図6B]返信された電子メールの具体例を示す模式図である。

[図7]本実施形態に係るメール送付処理を説明するためのフローチャートである。

[図8]他の注文確認メールの具体例を示す模式図である。

[図9A]返信された他の電子メールの具体例を示す模式図である。

[図9B]返信された他の電子メールの具体例を示す模式図である。

発明を実施するための形態

[0027] 以下に本発明の実施形態を説明する。本発明の実施形態では、多くの店舗（仮想店舗）が集まって構成される販売サイト（ショッピングモールサイト）に好適な販売システムを一例として説明する。

なお、以下の実施形態は説明のためのものであり、本願発明の範囲を制限するものではない。従って、当業者であればこれらの各要素または全要素をこれと均等なものに置換した実施形態を採用することが可能であるが、これらの実施形態も本発明の範囲に含まれる。

[0028]（全体構成）

本発明の実施形態に係る販売システム100は、図1に示すように、サーバ装置200と複数のマーチャント端末300とが通信可能に接続されており、サーバ装置200と複数のショッパー端末400とがインターネット900を介して通信可能に接続されて構成される。また、サーバ装置200は、販売サイト500とも通信可能に接続されている。販売サイト500と複数のショッパー端末400とも、インターネット900を介して通信可能に接続されている。

なお、これらの接続形態は一例であり、他の接続形態であってもよい。例えば、各マーチャント端末300も、ショッパー端末400と同様に、インターネット900を介してサーバ装置200等と通信可能に接続されていて

もよい。

[0029] サーバ装置200は、ショッパー端末400とマーチャント端末300との間で送受信される電子メールを適宜中継する。

また、販売サイト500にアクセスしたショッパー端末400を通じてショッパーが商品を購入した際（つまり、ショッパーからマーチャントへの購入申込を行った際）に、サーバ装置200は、注文確認メールを生成して、商品を購入したショッパー端末400に向けて送信する。

[0030] 各マーチャント端末300は、販売サイト500に出店しているマーチャントの端末であり、サーバ装置200から、少なくとも電子メールについて管理対象となっている。そして、各マーチャント端末300（より詳細には、各マーチャント）には、サーバ装置200からメールアドレス（後述する代表メールアドレス）が割り当てられており、そのメールアドレスは、販売サイト500の商品ページ等にて公開されているものとする。

[0031] 一方、各ショッパー端末400は、販売サイト500の顧客等の端末である。各ショッパー端末400は、それぞれ、図示せぬISP（Internet Service Provider）を通じて、インターネット900に接続可能となっている。そして、各ショッパー端末400（より詳細には、各ショッパー）には、ISPからメールアドレスが割り当てられているものとする。

[0032] 各ショッパー端末400のISPには、それぞれ、メールサーバが含まれている。そして、ISPのメールサーバは、ショッパー端末400からマーチャントに向けて送信された電子メールを、サーバ装置200に送信する。また、ISPのメールサーバは、サーバ装置200からショッパー（より詳細には、マーチャントからショッパー）に向けて送信された電子メールを、ショッパー端末400に送付する。

以下では、発明の理解を容易にするために、このようなISPのメールサーバを省略して説明する。つまり、サーバ装置200を介して、ショッパー端末400とマーチャント端末300との間で、電子メールが送受信されるものとして説明する。

[0033] 販売サイト500は、多くのマーチャントが出店しており、アクセスして来たショッパー端末400に対して各マーチャントの商品に関する情報を提供すると共に、ショッパーが希望する商品を販売する。

例えば、販売サイト500は、種々の商品ページをショッパー端末400に提示し、ショッパー端末400からの購入操作（注文操作）を受け付けて、対象の商品を販売する。

[0034] （情報処理装置の概要構成）

本発明の実施形態に係るサーバ装置200、マーチャント端末300、ショッパー端末400、及び、販売サイト500が実現される典型的な情報処理装置600について説明する。

[0035] 情報処理装置600は、図2に示すように、CPU（Central Processing Unit）601と、ROM（Read Only Memory）602と、RAM（Random Access Memory）603と、NIC（Network Interface Card）604と、画像処理部605と、音声処理部606と、DVD-ROM（Digital Versatile Disc ROM）ドライブ607と、インターフェース608と、外部メモリ609と、コントローラ610と、モニタ611と、スピーカ612と、を備える。

[0036] CPU 601は、情報処理装置600全体の動作を制御し、各構成要素と接続され制御信号やデータをやりとりする。

[0037] ROM 602には、電源投入直後に実行されるIPL（Initial Program Loader）が記録され、これが実行されることにより、所定のプログラムをRAM 603に読み出してCPU 601による当該プログラムの実行が開始される。また、ROM 602には、情報処理装置600全体の動作制御に必要なオペレーティングシステムのプログラムや各種のデータが記録される。

[0038] RAM 603は、データやプログラムを一時的に記憶するためのもので、DVD-ROMから読み出したプログラムやデータ、その他、通信に必要なデータ等が保持される。

- [0039] NIC 604は、情報処理装置600をインターネット等のコンピュータ通信網に接続するためのものであり、LAN (Local Area Network) を構成する際に用いられる10BASE-T/100BASE-T規格にしたがうものや、電話回線を用いてインターネットに接続するためのアナログモデム、ISDN (Integrated Services Digital Network) モデム、ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line) モデム、ケーブルテレビジョン回線を用いてインターネットに接続するためのケーブルモデム等と、これらとCPU 601との仲立ちを行うインターフェース (図示せず) 等により構成される。
- [0040] 画像処理部605は、DVD-ROM等から読み出されたデータをCPU 601や画像処理部605が備える画像演算プロセッサ (図示せず) によって加工処理した後、これを画像処理部605が備えるフレームメモリ (図示せず) に記録する。フレームメモリに記録された画像情報は、所定の同期タイミングでビデオ信号に変換され、モニタ611に出力される。これにより、各種のページ表示が可能となる。
- [0041] 音声処理部606は、DVD-ROM等から読み出した音声データをアナログ音声信号に変換し、これに接続されたスピーカ612から出力させる。また、CPU 601の制御の下、情報処理装置600が行う処理の進行の中で発生させるべき音を生成し、これに対応した音声をスピーカ612から出力させる。
- [0042] DVD-ROMドライブ607に装着されるDVD-ROMには、例えば、実施形態に係るサーバ装置200等を実現するためのプログラムが記憶される。CPU 601の制御によって、DVD-ROMドライブ607は、これに装着されたDVD-ROMに対する読み出し処理を行って、必要なプログラムやデータを読み出し、これらはRAM 603等に一時的に記憶される。
- [0043] インターフェース608には、外部メモリ609、コントローラ610、モニタ611、及びスピーカ612が、着脱可能に接続される。

[0044] 外部メモリ 609 には、ユーザの個人情報に関するデータなどが書き換え可能に記憶される。

[0045] コントローラ 610 は、情報処理装置 600 の各種の設定時などに行われる操作入力を受け付ける。情報処理装置 600 のユーザは、コントローラ 610 を介して指示入力を行うことにより、これらのデータを適宜外部メモリ 609 に記録することができる。

[0046] モニタ 611 は、画像処理部 605 により出力されたデータを情報処理装置 600 のユーザに提示する。

[0047] スピーカ 612 は、音声処理部 606 により出力された音声データを情報処理装置 600 のユーザに提示する。

[0048] この他、情報処理装置 600 は、ハードディスク等の大容量外部記憶装置を用いて、ROM 602、RAM 603、外部メモリ 609、DVD-ROM ドライブ 607 に装着される DVD-ROM 等と同じ機能を果たすように構成してもよい。

[0049] 以下、上記情報処理装置 600 において実現されるサーバ装置 200 の構成等について、図 3～図 6 を参照して説明する。情報処理装置 600 に電源が投入されると、本実施形態に係るサーバ装置 200 として機能させるプログラムが実行され、本実施形態に係るサーバ装置 200 が実現される。

なお、マーチャント端末 300、ショッパー端末 400、及び、販売サイト 500 も同様に情報処理装置 600 において実現されるが、これらの構成については省略し、本実施形態において最も特徴的なサーバ装置 200 について、以下説明する。

[0050] (サーバ装置の概要構成)

図 3 は、本実施形態に係るサーバ装置 200 の概要構成の一例を示すブロック図である。図示するように、サーバ装置 200 は、送信部 210 と、受信部 220 と、記憶部 230 と、制御部 240 と、送付部 250 とを備える。

[0051] 送信部 210 は、何れかのショッパー（ショッパー端末 400）が販売サ

イト５００にて、商品を購入した（購入申込を行った）際に、制御部２４０（生成部２４２）が生成した注文確認メールを、そのショッパー（より詳細には、ショッパーのメールアドレス）に向けて送信する。

また、送信部２１０は、マーチャントからショッパーに向けた連絡メール等も送信する。

なお、上述したＮＩＣ ６０４等が、このような送信部２１０として機能しうる。

[0052] 受信部２２０は、マーチャントからショッパーに向けて送信された各種の電子メールを受信する。

例えば、受信部２２０は、送信部２１０からショッパーに向けて送信した注文確認メールにショッパーが返信した電子メール（詳細は、後述する）を受信する。この他にも、受信部２２０は、公開されているマーチャントのメールアドレス（後述する代表アドレス）に向けてショッパーから送られた問合せ等の電子メールも受信する。

そして、受信部２２０は、受信した電子メールを制御部２４０に供給する。

なお、上述したＮＩＣ ６０４等が、このような受信部２２０として機能しうる。

[0053] 記憶部２３０は、例えば、マーチャントのメールアドレスについての変換テーブル等を記憶する。

具体的に、記憶部２３０は、図４に示すような変換テーブル２３１を記憶する。この変換テーブル２３１には、一例として、マーチャントＩＤ２３１ａと、実アドレス２３１ｂと、代表アドレス２３１ｃとが含まれている。

[0054] マーチャントＩＤ２３１ａは、マーチャントの識別情報である。

[0055] 実アドレス２３１ｂは、マーチャント端末３００（より詳細には、マーチャント）が実際に使用しているメールアドレスを示している。この実アドレス２３１ｂは、例えば、販売サイト５００の商品ページ等には公開されておらず、ショッパー等には秘匿されている。

[0056] 代表アドレス231cは、秘匿されていないマーチャント端末300のメールアドレスを示している。この代表アドレス231cは、例えば、サーバ装置200から配布されており、メールのローカル部が、マーチャントに対応するマーチャント名であり、メールのドメイン部が、サーバ装置200に対応するドメイン名となっている。具体的に、代表アドレス231cが「A B C D @ r a k u t e n . n e . j p」の場合であれば、ローカル部の「A B C D」がマーチャント名であり、ドメイン部の「r a k u t e n . n e . j p」がサーバ装置200のドメイン名である。

このような代表アドレス231cは、例えば、販売サイト500の商品ページ等に公開されている。

[0057] この他にも、記憶部230は、サーバ装置200の処理に必要な種々の情報を記憶する。

なお、上述したRAM 603や外部メモリ609等が、このような記憶部230として機能しうる。

[0058] 図3に戻って、制御部240は、サーバ装置200全体を制御する。この制御部240は、検知部241、生成部242、及び、抽出部243を含んでおり、ショッパー端末400とマーチャント端末300との間で送受信される電子メールを適宜中継する。

[0059] 検知部241は、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する。

例えば、何れかのショッパー端末400から販売サイト500にアクセスし、何れかのマーチャントの商品ページにて商品の購入操作（注文操作）を行うと、ショッパーからマーチャントへの購入申込が行われる。検知部241は、そのような購入申込を検知する。

[0060] 生成部242は、検知部241が購入申込を検知すると、注文確認メールを生成する。例えば、生成部242は、注文確認メールを生成するために必要な情報を、販売サイト500から取得して、注文確認メールを生成する。

具体的に、生成部242は、検知部241が検知した購入申込に関する注文情報を販売サイト500から取得する。この注文情報には、一例として、

購入申込を識別するための注文番号の他に、購入先情報（マーチャントID等）、購入者情報（ショッパーID、メールアドレス等）、及び、明細情報（購入した商品の名称、単価、個数等）が含まれている。

[0061] そして、生成部242は、図5に示すような注文確認メール700を生成する。

この注文確認メール700には、Fromフィールド701に、「ABCD.123456-20180103-0123456789@rakuten.ne.jp」というメールアドレスが設定（指定）されている。

このメールアドレスは、例えば、注文情報における購入先情報（マーチャントID）が、「R123-4567」であった場合に、図4の変換テーブル231が参照され、そのマーチャントの代表アドレス231c（ABCD@rakuten.ne.jp）のローカル部に、注文番号703（123456-20180103-0123456789）を付加した（より詳細には、ピリオドと共に付加した）ものである。つまり、マーチャントの代表アドレス231cにおけるローカル部の末尾に注文番号703を付加した架空のメールアドレスである。

なお、このような架空のメールアドレスは一例であり、例えば、代表アドレス231cにおけるローカル部の先頭に注文番号703を付加した架空のメールアドレスであってもよい。

[0062] また、本文702には、注文番号703と共に、注文情報における明細情報が含まれている。

生成部242は、生成した図5に示すような注文確認メール700を、送信部210を通じて、ショッパー（商品を購入したショッパー）に向けて送信する。

[0063] 図3に戻って、抽出部243は、受信部220がマーチャント宛の電子メールを受信すると、その電子メールのToフィールドに設定（指定）されたメールアドレス中に注文番号が含まれているかどうかを判別し、含まれている場合に、そのメールアドレスから注文番号等を抽出する。なお、注文番号は

、一例として、6桁の数字（数字の文字列）と、8桁の数字と、10桁の数字（より詳細には、7桁以上の数字）とがハイフンで繋がれた書式となっている。

例えば、上述した注文確認メールを受信したショッパーが注文確認メールに返信する形で電子メールを送信した場合には、その電子メールのToフィールドのメールアドレス中には、マーチャント名と、注文番号とが含まれている。そのため、抽出部243は、そのメールアドレスから、マーチャント名と、注文番号とを抽出する。

[0064] 具体的に、受信部220が図6Aに示すような電子メール800（一例として、上記の注文確認メール700に対する返信メール）を受信した場合に、抽出部243は、Toフィールド801に設定（指定）されている「A B C D . 1 2 3 4 5 6 - 2 0 1 8 0 1 0 3 - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 @ r a k u t e n . n e . j p」というメールアドレスから、マーチャント名の「A B C D」と、注文番号の「1 2 3 4 5 6 - 2 0 1 8 0 1 0 3 - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9」とを抽出する。

つまり、抽出部243は、Toフィールドに設定されているメールアドレスにおけるローカル部の文字列から、注文番号の書式（6桁の数字－8桁の数字－7桁以上の数字）に適合する文字列を検索し、一致するものを注文番号として抽出する。なお、注文番号を抽出できた場合、その注文番号をピリオドと共にローカル部の文字列から削除してもよい。

その場合、残ったローカル部の文字列は、図4の変換テーブル231における代表アドレス231cの何れかとローカル部同士が一致する（全体としても一致する）ため、抽出部243は、一致したローカル部の文字列をマーチャント名として抽出する。

[0065] そして、抽出部243は、このように抽出した注文番号を、例えば、電子メールのSubjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に埋め込む。

具体的に、抽出部243は、抽出した注文番号を、図6Bに示すように、

電子メール 8 1 0 の Subject フィールド 8 1 2 に埋め込む（付加する）。

なお、この図 6 B は、一例として、To フィールド 8 1 1 のメールアドレスから、抽出した注文番号（より詳細には、ピリオドと注文番号）を削除した場合を示している。この場合、To フィールド 8 1 1 のメールアドレスは、図 4 の変換テーブル 2 3 1 における代表アドレス 2 3 1 c の何れかと一致することになる。

[0066] 図 3 に戻って、制御部 2 4 0 は、この他にも、送付部 2 5 0 を制御するなどの処理も行う。

なお、上述した CPU 6 0 1 等が、このような構成からなる制御部 2 4 0 として機能しうる。

[0067] 送付部 2 5 0 は、上述した抽出部 2 4 3 により注文番号等が抽出され、その注文番号が、Subject フィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に埋め込まれた電子メールを、抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する。

具体的に送付部 2 5 0 は、上述した図 6 B に示すような電子メール 8 1 0 を、図 4 の変換テーブル 2 3 1 を参照して、To フィールド 8 1 1 のアドレスに一致する代表アドレス 2 3 1 c に対応付けられた実アドレス 2 3 1 b に向けて、送付する。

[0068] なお、上述した抽出部 2 4 3 が、抽出した注文番号を、Subject フィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に埋め込む場合について説明したが、埋め込む処理を他の構成が行うようにしてもよい。

例えば、注文番号を、Subject フィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に埋め込む処理を、抽出部 2 4 3 の代わりに、送付部 2 5 0 が行ってもよい。

その場合、送付部 2 5 0 は、電子メールの Subject フィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、抽出部 2 4 3 によって抽出された注文識別番号を埋め込んでから、抽出部 2 4 3 によって抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付することになる。

[0069] また、受信部220が、マーチャントの代表アドレス宛にショッパーから送られた問合せ等の電子メールを受信した場合でも、送付部250は、同様に、図4の変換テーブル231を参照して、その代表アドレス231cに対応付けられた実アドレス231bに向けて、問合せメール等を送付する。

なお、上述したNIC 604等が、このような送付部250として機能しうる。

[0070] (サーバ装置の動作)

以下、このような構成のサーバ装置200の動作について図7を参照して説明する。図7は、本実施形態に係るメール送付処理の流れを示すフローチャートである。

[0071] まず、サーバ装置200は、購入申込を検知したか否かを判別する(ステップS11)。

つまり、検知部241は、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知したかどうかを判別する。例えば、何れかのショッパー端末400から販売サイト500にアクセスし、何れかのマーチャントの商品ページにて商品の購入操作(注文操作)を行うと、ショッパーからマーチャントへの購入申込が行われる。そのような場合に、検知部241は、購入申込を検知したと判別する。

サーバ装置200は、購入申込を検知していないと判別すると(ステップS11; No)、引き続きステップS11の処理を繰り返す。

[0072] 一方、購入申込を検知したと判別した場合(ステップS11; Yes)に、サーバ装置200は、購入申込に関する注文情報を販売サイト500から取得する(ステップS12)。

例えば、生成部242は、購入申込を識別するための注文番号の他に、購入先情報(マーチャントID等)、購入者情報(ショッパーID、メールアドレス等)、及び、明細情報(購入した商品の名称、単価、個数等)が含まれた注文情報を販売サイト500から取得する。

[0073] サーバ装置200は、注文確認メールを生成する(ステップS13)。

例えば、生成部242は、販売サイト500から取得した注文情報を基に、図5に示すような注文確認メール700を生成する。

上述したように、注文確認メール700のFromフィールド701には、マーチャントの代表アドレス231cにおけるローカル部の末尾に注文番号703を付加した架空のメールアドレス（ABCD. 123456-20180103-0123456789@rakuten.ne.jp）が設定（指定）されている。

なお、このような架空のメールアドレスは一例であり、例えば、代表アドレス231cにおけるローカル部の先頭に注文番号703を付加した架空のメールアドレスであってもよい。

[0074] サーバ装置200は、注文確認メールを、購入したショッパーに向けて送信する（ステップS14）。

つまり、送信部210は、図5に示すような注文確認メール700を、ショッパーに向けて送信する。

[0075] サーバ装置200は、受信した電子メールがあったか否かを判別する（ステップS15）。

サーバ装置200は、受信した電子メールがなかったと判別すると（ステップS15；No）、上述したステップS11に処理を戻す。なお、メールは不定期に送られてくるため、現実において、サーバ装置200は、ステップS11の処理とステップS15との処理とを、繰り返し交互に行っているものとする。

[0076] 一方、受信した電子メールがあったと判別した場合（ステップS15；Yes）に、サーバ装置200は、その電子メールのToフィールドに注文番号があるか否かを判別する（ステップS16）。

つまり、抽出部243は、受信部220がマーチャント宛の電子メールを受信すると、その電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレス中に注文番号が含まれているかどうかを判別する。

[0077] サーバ装置200は、Toフィールドに注文番号がないと判別すると（ステ

ップS 1 6 ; N o) 、後述するステップS 1 9 に処理を進める。

なお、Toフィールドに注文番号がない場合とは、公開されているマーチャントの代表アドレス宛にショッパーから送られた問合せ等の電子メールを受信したときである。

[0078] 一方、Toフィールドに注文番号があると判別した場合（ステップS 1 6 ; Y e s ）に、サーバ装置2 0 0 は、注文番号等を抽出する（ステップS 1 7 ）。

例えば、図6 A に示すような電子メール8 0 0 を受信した場合に、抽出部2 4 3 は、Toフィールド8 0 1 に設定（指定）されている「A B C D . 1 2 3 4 5 6 - 2 0 1 8 0 1 0 3 - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 @ r a k u t e n . n e . j p 」というメールアドレスから、マーチャント名の「A B C D 」と、注文番号の「1 2 3 4 5 6 - 2 0 1 8 0 1 0 3 - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 」とを抽出する。

[0079] サーバ装置2 0 0 は、抽出した注文番号を、その電子メールのSubjectフィールド等に埋め込む（ステップS 1 8 ）。

例えば、抽出部2 4 3 は、抽出した注文番号を、図6 B に示すように、電子メール8 1 0 のSubjectフィールド8 1 2 に埋め込む（付加する）。

なお、この図6 B は、一例として、Toフィールド8 1 1 に設定されていたメールアドレスから、抽出した注文番号（より詳細には、ピリオドと注文番号）を削除した場合を示している。この場合、Toフィールド8 1 1 のアドレスは、図4 の変換テーブル2 3 1 における代表アドレス2 3 1 c の何れかと一致することになる。

[0080] サーバ装置2 0 0 は、受信した電子メールをマーチャントへ送付する（ステップS 1 9 ）。

例えば、送付部2 5 0 は、上述した図6 B に示すような電子メール8 1 0 を、図4 の変換テーブル2 3 1 を参照し、Toフィールド8 1 1 のアドレスに一致する代表アドレス2 3 1 c に対応付けられた実アドレス2 3 1 b に向けて、送付する。

また、ステップS 1 6にて、Toフィールドに注文番号がないと判別された電子メール（マーチャントの代表アドレス宛にショッパーから送られた問合せ等の電子メール）についても、送付部250は、同様に、図4の変換テーブル231を参照して、その代表アドレス231cに対応付けられた実アドレス231bに向けて、電子メールを送付する。

そして、サーバ装置200は、上述したステップS 1 1に処理を戻す。

[0081] このようなメール送付処理では、ショッパーに送信される注文確認メールにおけるFromフィールドのメールアドレスにマーチャント名と注文番号と含まれているため、その注文確認メールに返信された電子メールのToフィールドのメールアドレス中にも、マーチャント名と注文番号とが含まれている。

そのため、返信された電子メールにおいて、送信時の本文（注文確認メールの内容）が全て削除されているような場合でも、そのような電子メールをマーチャントに送付することが可能となる。そして、送付された電子メールを取得したマーチャントは、例えば、その電子メールのSubjectフィールド等に付加されている注文番号から、購入内容を把握でき、ショッパーが希望する購入内容の変更等にも容易に対応することができる。

この結果、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することができる。

[0082] （他の実施形態）

上記の実施形態では、注文番号の書式が、6桁の数字－8桁の数字－7桁以上の数字である場合について説明したが、このような書式は一例であり、他の桁数や数字以外の文字が含まれていてもよい。

すなわち、書式が定められており、購入申込を識別するための識別子（注文識別子）であれば、同様に適用可能である。

[0083] 上記の実施形態では、注文確認メールのFromフィールドに設定（指定）するメールアドレス（ローカル部）に、マーチャント名と、注文番号とを含める場合について説明したが、注文番号にマーチャントと紐付けられた固有情報が含まれている場合に、そのメールアドレスからマーチャント名を省いて

もよい。

例えば、注文番号の書式（６桁の数字－８桁の数字－７桁以上の数字）において、先頭の６桁の数字が、マーチャントに紐付けられた固有情報である場合に、生成部２４２は、図８に示すような注文確認メール７１０を生成する。

この注文確認メール７１０には、Fromフィールド７１１に、「１２３４５６－２０１８０１０３－０１２３４５６７８９@rakuten.ne.jp」というメールアドレスが設定（指定）されている。つまり、本文７１２における注文番号７１３だけが、ローカル部に設定された架空のメールアドレスである。

そして、このような注文確認メール７１０に返信された電子メールを受信した場合、その電子メールのToフィールドのメールアドレス中には、マーチャント名が含まれておらず、注文番号だけとなる。

具体的には、図９Ａに示すような電子メール８２０を受信することになる。そのため、抽出部２４３は、Toフィールド８２１に設定（指定）されている「１２３４５６－２０１８０１０３－０１２３４５６７８９@rakuten.ne.jp」というメールアドレスから、注文番号だけを抽出することになる。

つまり、抽出部２４３は、Toフィールド８２１に設定されているメールアドレスにおけるローカル部の文字列から、注文番号の書式（６桁の数字－８桁の数字－７桁以上の数字）に適合する文字列を検索し、一致した注文番号（１２３４５６－２０１８０１０３－０１２３４５６７８９）を抽出する（注文番号を削除する）。そして、抽出部２４３は、図９Ｂに示す電子メール８３０のように、Toフィールド８３１のメールアドレスにおいて、抽出した（削除した）注文番号の代わりに、対応するマーチャント名（ＡＢＣＤ）を設定する。つまり、Toフィールド８３１におけるメールアドレスのローカル部を、注文番号の先頭の６桁の数字（固有情報）に紐付けられたマーチャント名に置き換える。

更に、抽出部243は、このように抽出した注文番号を、例えば、電子メールのSubjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に埋め込む。

例えば、抽出部243は、抽出した注文番号を、図9Bに示すように、電子メール830のSubjectフィールド832に埋め込む（付加する）。

そして、送付部250は、図9Bに示すような電子メール830を、マーチャントへ送付することになる。

この場合でも、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することができる。

[0084] 上記の実施形態では、注文確認メールのFromフィールドに設定（指定）するメールアドレス（ローカル部）に、注文番号をそのまま含める場合について説明したが、ローカル部は、64文字以下と規定されており、マーチャント名等の文字数によっては、この規定を満たさない場合も生じ得る。そのため、ローカル部の文字数が64文字を超える場合、若しくは、超えない場合でも、注文番号を符号化して文字数を短縮するようにしてもよい。例えば、生成部242は、ハフマン符号等を用いて、注文番号を短縮化した短縮識別子をローカル部に含むメールアドレスをFromフィールドに設定（指定）する。

また、そのような注文確認メールに返信された電子メールを受信した場合、その電子メールのToフィールドのメールアドレス中には、短縮識別子が含まれているため、抽出部243は、その短縮識別子を特定し、特定した短縮識別子を復号化して注文番号を抽出することになる。

この場合でも、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することができる。

[0085] また、サーバ装置200は、一時アドレスを発行する発行部を更に備えてもよい。

発行部が発行する一時アドレスは、一時的に利用可能なメールアドレスであり、少なくとも注文番号と紐付けられたアドレスである。

その場合、生成部242は、発行部が注文番号に応じて発行した一時アドレスを、注文確認メールのFromフィールドに設定（指定）することになる。

また、そのような注文確認メールに返信された電子メールを受信した場合、その電子メールのToフィールドのメールアドレスは、一時アドレスとなっているため、抽出部243は、その一時アドレスに紐付けられた注文番号を抽出することになる。

この場合でも、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することができる。

[0086] また、上記の実施形態では、注文確認メールについてだけ、Fromフィールドに設定（指定）するメールアドレス（ローカル部）に、注文番号、短縮識別子、もしくは、一時アドレス等（注文番号等）を含める場合について説明したが、注文確認メール以外でも、Fromフィールドに設定（指定）するメールアドレス（ローカル部）に、注文番号等を含めてもよい。

例えば、注文確認メールに返信された電子メールがマーチャントに送付され、更にその電子メールに返信する形で更に電子メールがショッパーに送られる場合も生じ得る。

そのため、サーバ装置200は、受信した電子メールにおけるToフィールドのメールアドレスから注文番号等を抽出した場合に、記憶部230にその注文番号等を所定期間だけ記憶するようにする。そして、マーチャントからショッパーに送信される電子メール（注文確認メール以外の電子メール）のSubjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、記憶部230に記憶している注文番号等が含まれている場合には、制御部240は、その電子メールのFromフィールドに設定（指定）するメールアドレス（ローカル部）に、その注文番号等を付加する。

そして、送信部210は、そのような電子メールをショッパーに向けて送信する。

この場合、今回送信した電子メールに返信された電子メールを受信した場合でも、マーチャントにその電子メールを適切に送付することができる。

[0087] 上記の実施形態では、注文確認メールの送信と、受信した電子メールの送付とを、単独のサーバ装置 200 が行う場合について説明したが、複数のサーバ装置が、注文確認メールの送信と、受信した電子メールの送付とを分担して行うようにしてもよい。

例えば、販売サイト 500 が、販売サーバとして機能すると共に、注文確認メールの送信も行う。つまり、販売サーバは、上述した検知部 241、及び、生成部 242 を備え、注文確認メールの送信を行う。

一方、サーバ装置 200 は、管理サーバとして機能し、受信した電子メールの送付を行う。つまり、管理サーバは、上述した抽出部 243、及び、送付部 250 を備え、受信した電子メールを対応するマーチャントへ送付する。

この場合、負荷を分散しつつ、ショッパーからの電子メールをマーチャントに適切に送付することができる。

[0088] 上記の実施形態では、販売システムに好適なサーバ装置等を一例として説明したが、このような販売システム以外のシステムであっても適宜適用可能である。

産業上の利用可能性

[0089] 以上説明したように、本発明によれば、ショッパーからの電子メールを、マーチャントに適切に送付することのできるサーバ装置、販売システム、サービス方法、ならびに、プログラムを提供することができる。

符号の説明

[0090] 100 販売システム
200 サーバ装置
210 送信部
220 受信部
230 記憶部
240 制御部
241 検知部

2 4 2 生成部
2 4 3 抽出部
2 5 0 送付部
3 0 0 マーチャント端末
4 0 0 ショッパー端末
5 0 0 販売サイト
6 0 0 情報処理装置
6 0 1 C P U
6 0 2 R O M
6 0 3 R A M
6 0 4 N I C
6 0 5 画像処理部
6 0 6 音声処理部
6 0 7 D V D - R O M ドライブ
6 0 8 インターフェース
6 0 9 外部メモリ
6 1 0 コントローラ
6 1 1 モニタ
6 1 2 スピーカ
9 0 0 インターネット

請求の範囲

[請求項1]

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、
前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、当該サーバ装置に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、
電子メールを受信する受信部と、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出部と、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付部と、
を備えることを特徴とするサーバ装置。

[請求項2]

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、
前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子と、当該サーバ装置に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、
電子メールを受信する受信部と、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスからマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出部と、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付部と、
を備えることを特徴とするサーバ装置。

[請求項3]

前記送信部は、前記注文識別子を符号化して文字数を短縮した短縮識別子を含んだメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信し、

前記抽出部は、前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから短縮識別子を特定し、特定した当該短縮識別子を復号化して注文識別子を抽出する、

ことを特徴とする請求項1又は2に記載のサーバ装置。

[請求項4]

一時的に利用可能なメールアドレスであり、少なくとも前記注文識別子と紐付けられた一時アドレスを発行する発行部を、更に備え、

前記送信部は、前記発行部により発行された前記一時アドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信し、

前記抽出部は、前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスに紐付けられた少なくとも注文識別子を抽出する、

ことを特徴とする請求項1又は2に記載のサーバ装置。

[請求項5]

前記送信部は、前記ショッパーから送信された前記電子メールを受信した後に、前記マーチャントから前記ショッパーへ送信すべき電子メールのSubjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記注文識別子が含まれている場合に、当該電子メールのFromフィールドに、前記注文識別子を含んだメールアドレスを指定してから、前記ショッパーへ送信する、

ことを特徴とする請求項1又は2に記載のサーバ装置。

[請求項6]

販売サーバと管理サーバとから構成される販売システムであって、前記販売サーバは、

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、

前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、前記管理サーバに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、を備え、

前記管理サーバは、

電子メールを受信する受信部と、

前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出部と、

Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付部と、を備える、

ことを特徴とする販売システム。

[請求項7]

販売サーバと管理サーバとから構成される販売システムであって、前記販売サーバは、

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部と、

前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子と、前記管理サーバに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部と、を備え、

前記管理サーバは、

電子メールを受信する受信部と、

前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスからマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出部と、

Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付部と、を備える、

ことを特徴とする販売システム。

[請求項8]

サーバ装置が実行するサービス方法であって、

前記サーバ装置が、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知ステップと、

前記サーバ装置が、前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、当該サー

バ装置に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信ステップと、

前記サーバ装置が、電子メールを受信する受信ステップと、

前記サーバ装置が、前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出ステップと、

前記サーバ装置が、Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付ステップと、

を備えることを特徴とするサービス方法。

[請求項9]

サーバ装置が実行するサービス方法であって、

前記サーバ装置が、ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知ステップと、

前記サーバ装置が、前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子と、当該サーバ装置に対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信ステップと、

前記サーバ装置が、電子メールを受信する受信ステップと、

前記サーバ装置が、前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスからマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出ステップと、

前記サーバ装置が、Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付ステップと、

を備えることを特徴とするサービス方法。

[請求項10]

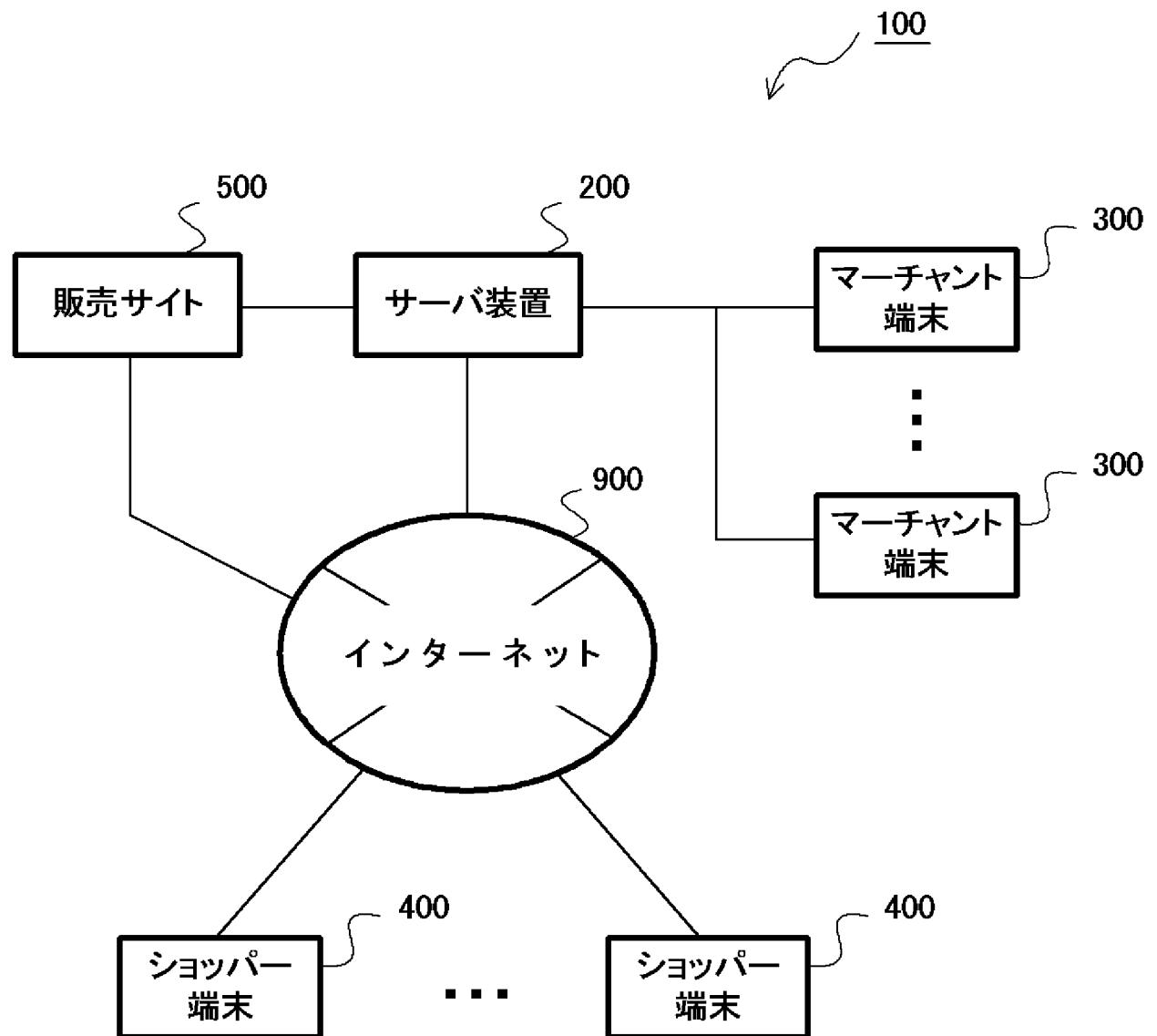
コンピュータを、

ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部、
前記購入申込を識別する識別子であり、前記マーチャントと紐付けられた固有情報を含んだ注文識別子と、当該コンピュータに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部、
電子メールを受信する受信部、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスから注文識別子を抽出する抽出部、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記固有情報に紐付けられたマーチャントへ送付する送付部、
として機能させることを特徴とするプログラム。

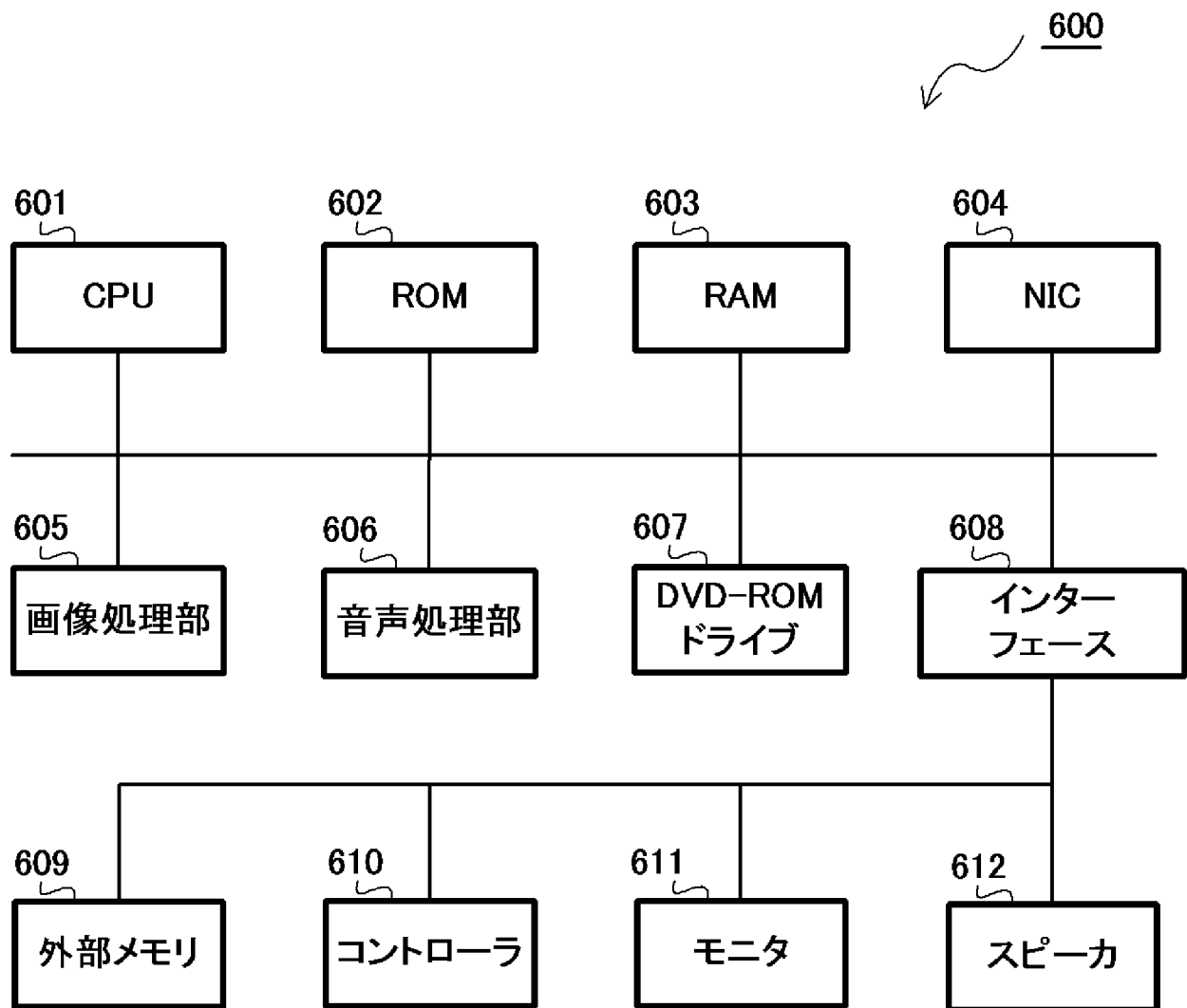
[請求項11]

コンピュータを、
ショッパーからマーチャントへの購入申込を検知する検知部、
前記マーチャントに対応するマーチャント名と、前記購入申込を識別する注文識別子、当該コンピュータに対応するドメイン名とに、基づくメールアドレスをFromフィールドに指定した注文確認メールを、前記ショッパーへ送信する送信部、
電子メールを受信する受信部、
前記受信された電子メールのToフィールドに指定されたメールアドレスからマーチャント名と、注文識別子とを抽出する抽出部、
Subjectフィールド、拡張ヘッダフィールド、もしくは、本文に、前記抽出された注文識別子を埋め込んだ電子メールを、前記抽出されたマーチャント名に対応するマーチャントへ送付する送付部、
として機能させることを特徴とするプログラム。

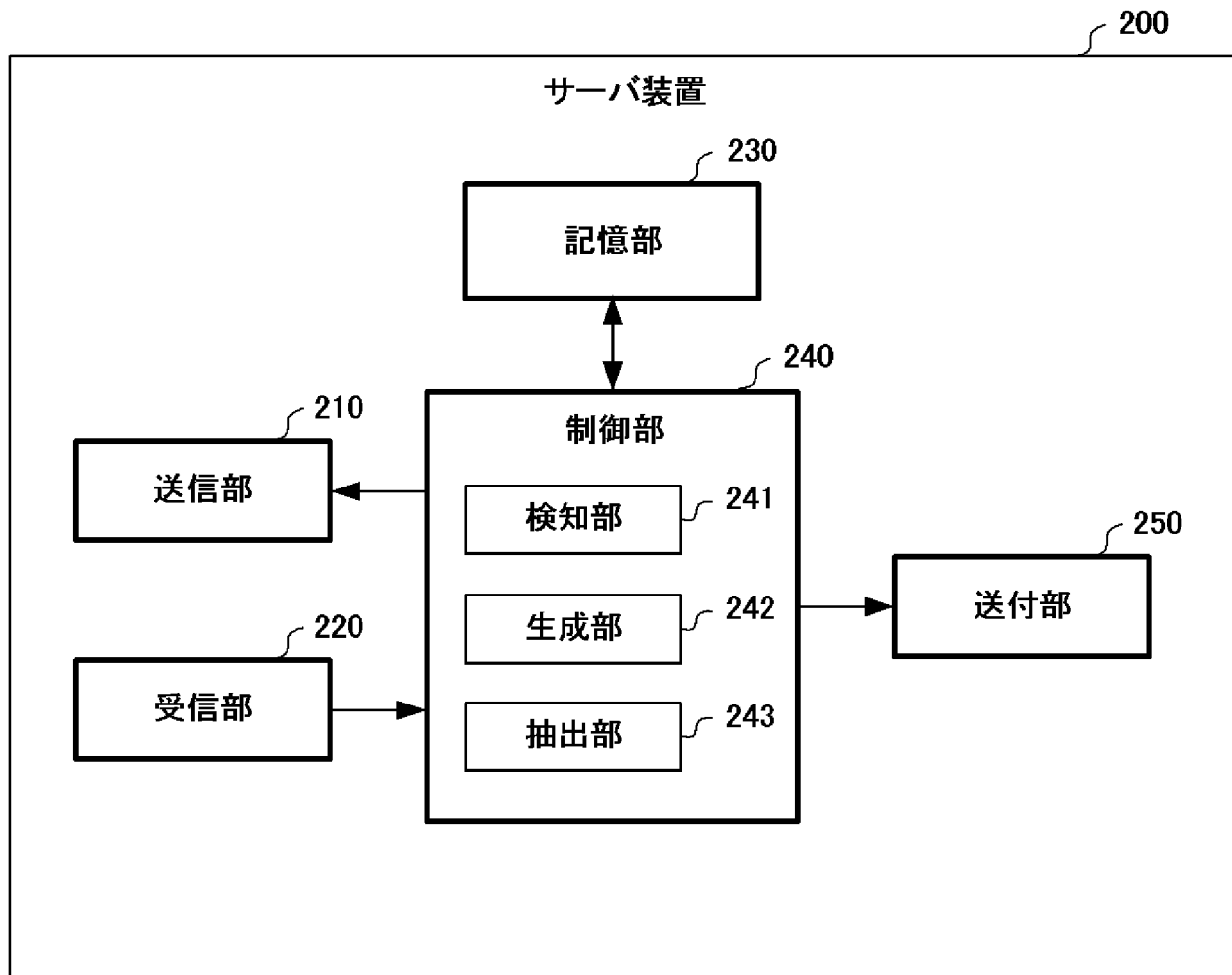
[図1]



[図2]



[図3]

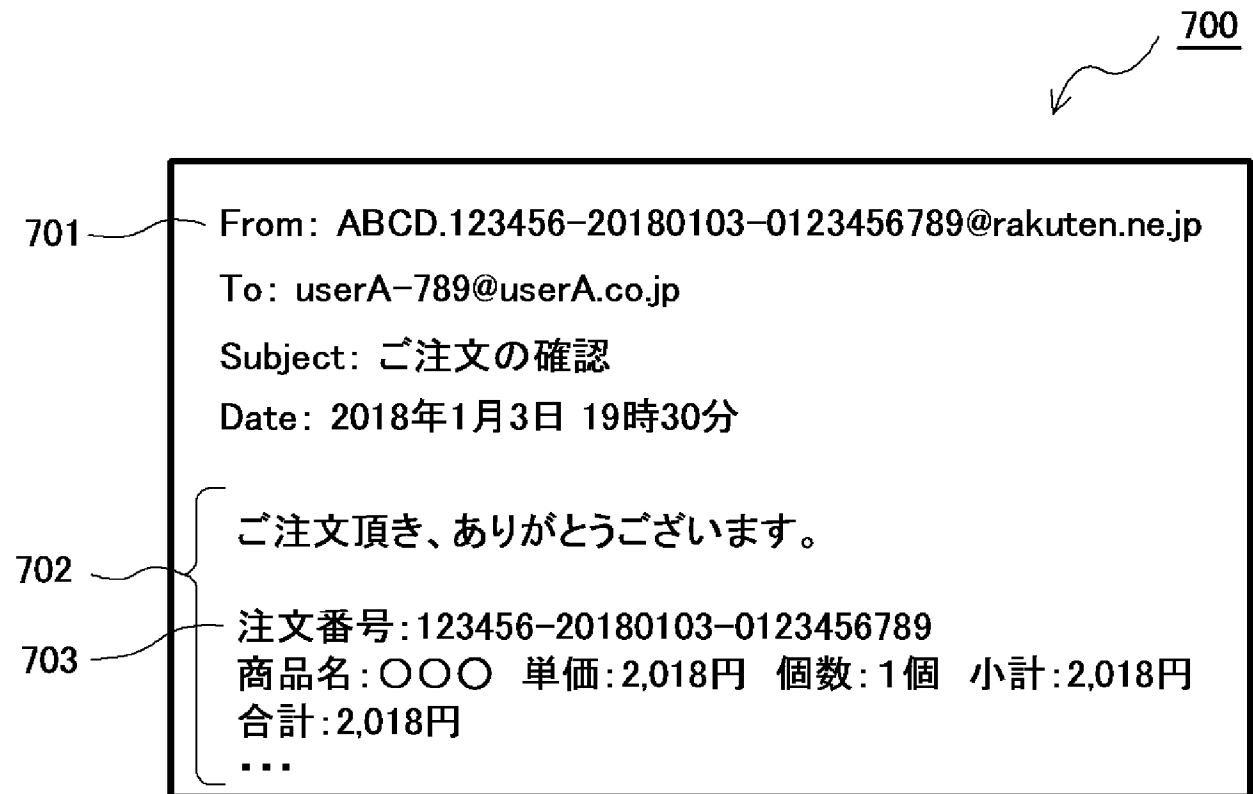


[図4]

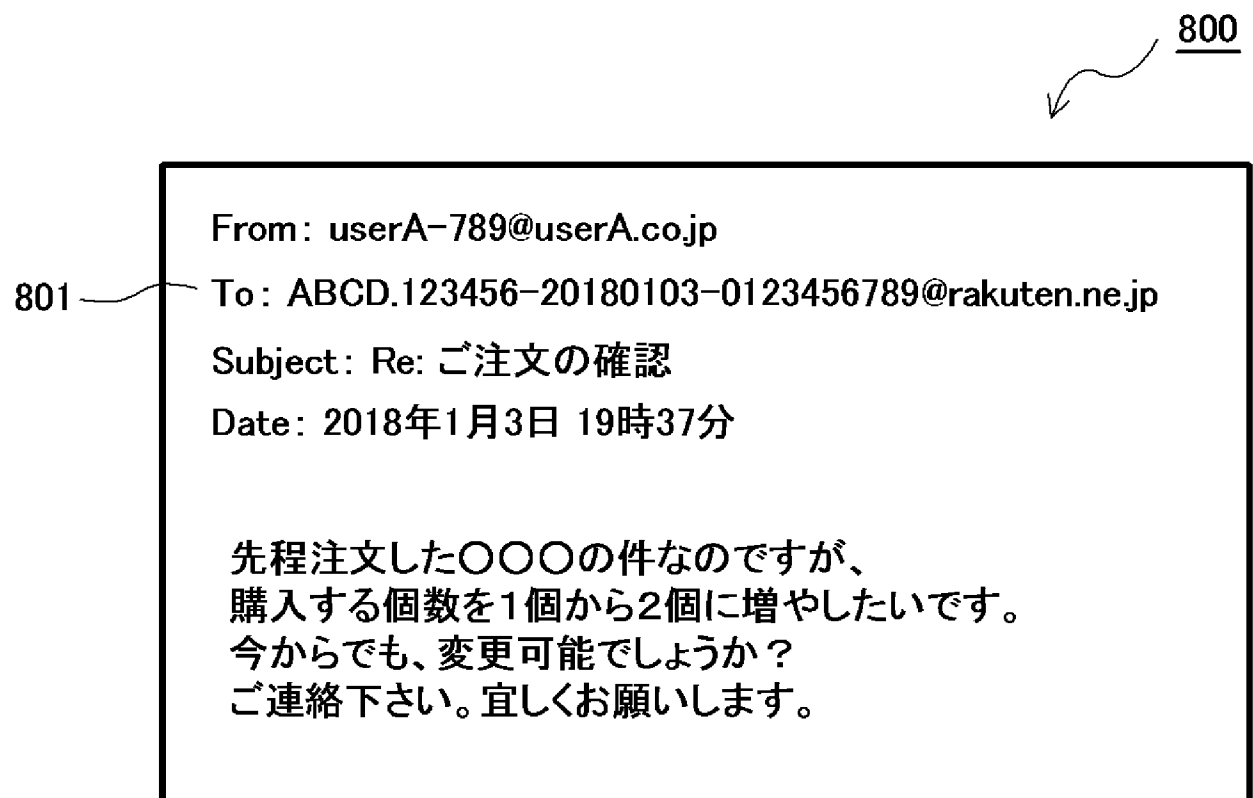
231

231a マーチャントID	231b 実アドレス	231c 代表アドレス	...
R123-4567	abc-123-xyz@abcd.co.jp	ABCD@rakuten.ne.jp	...
R234-5678	def-456-yzx@efgh.co.jp	EFGH@rakuten.ne.jp	...
R345-6789	ghi-789-zxy@ijkl.co.jp	IJKL@rakuten.ne.jp	...
:	:	:	:

[図5]



[図6A]



[図6B]

810

From: userA-789@userA.co.jp

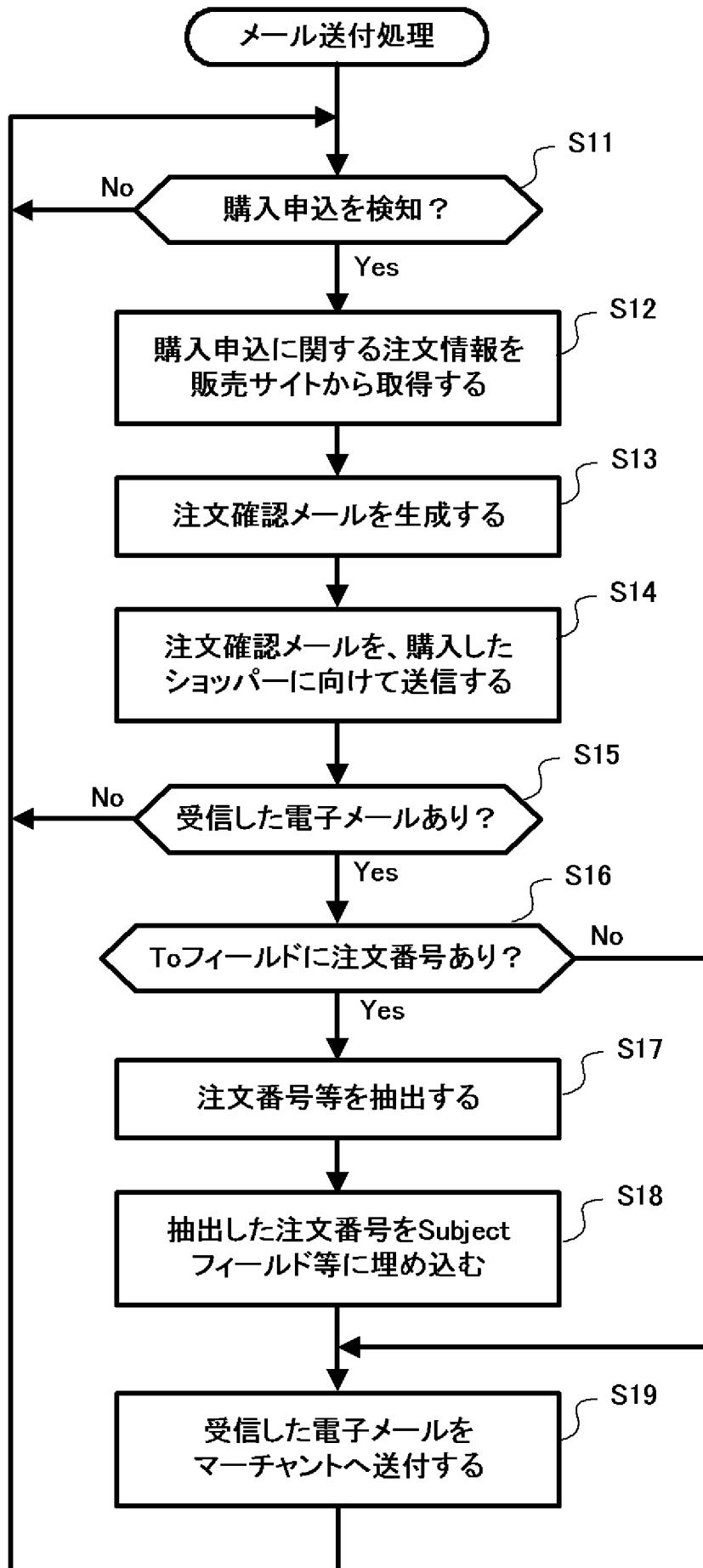
811 — To: ABCD@rakuten.ne.jp

812 — Subject: Re: ご注文の確認 123456-20180103-0123456789

Date: 2018年1月3日 19時37分

先程注文した〇〇〇の件なのですが、
購入する個数を1個から2個に増やしたいです。
今からでも、変更可能でしょうか？
ご連絡下さい。宜しくお願いします。

[図7]



[図8]

710

711 From: 123456-20180103-0123456789@rakuten.ne.jp
To: userA-789@userA.co.jp
Subject: ご注文の確認
Date: 2018年1月3日 19時30分

712 { ご注文頂き、ありがとうございます。

713 { 注文番号:123456-20180103-0123456789
商品名:〇〇〇 単価:2,018円 個数:1個 小計:2,018円
合計:2,018円
...

[図9A]

820

821 From: userA-789@userA.co.jp
To: 123456-20180103-0123456789@rakuten.ne.jp
Subject: Re: ご注文の確認
Date: 2018年1月3日 19時37分

先程注文した〇〇〇の件なのですが、
購入する個数を1個から2個に増やしたいです。
今からでも、変更可能でしょうか？
ご連絡下さい。宜しくお願いします。

[図9B]

830

From: userA-789@userA.co.jp

831 — To: ABCD@rakuten.ne.jp

832 — Subject: Re: ご注文の確認 123456-20180103-0123456789

Date: 2018年1月3日 19時37分

先程注文した〇〇〇の件なのですが、
購入する個数を1個から2個に増やしたいです。
今からでも、変更可能でしょうか？
ご連絡下さい。宜しくお願いします。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2018/025016

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl. G06Q30/06 (2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl. G06Q30/06

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2018

Registered utility model specifications of Japan 1996-2018

Published registered utility model applications of Japan 1994-2018

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2002-215968 A (UP STREAM KK) 02 August 2002, paragraphs [0012], [0013] (Family: none)	1-11
A	JP 2002-92406 A (UP STREAM KK) 29 March 2002, paragraphs [0011], [0012] (Family: none)	1-11
A	JP 2008-129680 A (TOPPAN PRINTING CO., LTD.) 05 June 2008, paragraph [0022] (Family: none)	1-11



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

27.07.2018

Date of mailing of the international search report

07.08.2018

Name and mailing address of the ISA/

Japan Patent Office

3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,

Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2018/025016

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 2004/0201625 A1 (KARAMCHEDU, M. M.) 14 October 2004, entire text & WO 2004/063877 A2	1-11

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q30/06 (2012.01) i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q30/06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2018年
日本国実用新案登録公報	1996-2018年
日本国登録実用新案公報	1994-2018年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2002-215968 A（有限会社アップストリーム）2002.08.02, 段落0012-0013（ファミリーなし）	1-11
A	JP 2002-92406 A（有限会社アップストリーム）2002.03.29, 段落0011-0012（ファミリーなし）	1-11
A	JP 2008-129680 A（凸版印刷株式会社）2008.06.05, 段落0022（ファミリーなし）	1-11

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

27.07.2018

国際調査報告の発送日

07.08.2018

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

塩田 徳彦

5 L

4533

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	US 2004/0201625 A1 (KARAMCHEDU, Murali M.) 2004.10.14, 全文 & WO 2004/063877 A2	1-11